

地元産農作物への理解を深めよう

燕市は信濃川と中ノ口川が運んだ豊かな土壌によりさまざまな種類の農産物が栽培されており、年間を通じて旬の味わいを楽しむことができます。地域で採れたものの消費や、農業体験を通して理解を深めましょう。

つばめ食べて応援キャンペーン

燕市産農産物の販売促進を図り、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農業者を応援します。

- 対象商品：燕市で生産された米、野菜、果物、花き、豚肉、卵、きのこ、農産加工品等で応募シールの貼ってあるもの
- 対象店舗：市内や近隣のスーパーマーケット、農産物直売所など
- 対象期間：10月31日（日）まで
- 主催：燕市農業まつり推進協議会



キャンペーンについて



地元のものを食べることは

↓ ↓ ↓

地域の活性化、流通コストの削減、輸送時に発生するCO₂の抑制につながります。

※昨年は17,000通を超える応募がありました。今年は賞品を6種類に増やし、合計1,100名様につばめの美味しいものをプレゼントします。



斉藤いちご園のいちごシャーベット・ジェラート



信田精肉店の燕市産豚肉お惣菜詰め合わせ



ハーベストの天然はちみつ 磨き屋一番館のスプーン付き



燕市産新米コシヒカリ 飛燕舞5kg



ツバメファームのアスタ卵 卵かけご飯専用しょうゆ付き



純米原酒 桜の花を浮かべて飲む えちご雪つばめ

つばめ食探求事業

燕西蒲勤労者福祉サービスセンターと連携協力し、令和2年3月からつばめ食探求事業を実施しています。市内農産物の収穫体験とその食材を使った飲食店での食事を組み合わせた企画で、地元食材への理解と地域活性化を目的としています。市内の飲食店を応援することにもつながり、人気の企画となっています。

☆これまで2回の収穫祭で134名の申し込みがあり、抽選で55名の方からご参加いただきました。

※収穫体験は設定日に時間を分けてご案内します。食事は参加日から一週間以内でお好きな日時にご予約ください。

春のもともちきゅうり収穫祭



きゅうりの花はチョコレートのにおい?ほんとだ! 自分で採ったきゅうりの食感の良さに感動!

夏のトマト収穫祭



トマトの実のなり方がきれい~! 桃太郎トマトってこんなに大きくなるの? ずっしり重たい!

秋のサツマイモ収穫祭ご案内

10月2日(土) 10月3日(日)
10月9日(土) 10月10日(日)
午前10時~11時

収穫:宮路農場(吉田下中野)
食事:BISTRO NAOMI
申込み等詳しくはこちらから→



産地を見たり農業体験をすることは

↓ ↓ ↓

日々の食事が生産者や自然の恵みによって支えられていることへの関心、理解を深めることができます。

燕市のきゅうり生産量は県内第2位

燕市のトマト生産量も県内第2位